

2023.11.9 (木)
社会福祉法人愛和会
訪問介護ステーションあいわ

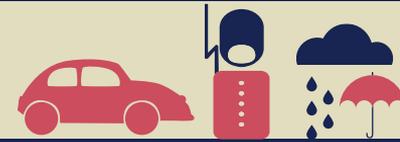


第26回

会議・医療連携推進会議

定期巡回随時対応型訪問介護・看護

介護・医療連携推進会議 参加者紹介



地域の医療関係者
地域住民の代表者
地域の医療従事者
地域の医療従事者
地域の医療従事者

当該事業について知見を有するもの
当該事業について知見を有するもの
当該事業について知見を有するもの
緑地包括支援センター

事業者
事業者
事業者
事業者
事業者
事業者

あいわ診療所
民生委員 児童委員 寺内地区委員会
篤友会 千里山病院
篤友会 坂本病院
篤友会 訪問看護ステーション
ケアプランセンター奏
ウエル清光会 利倉清豊苑
豊中市役所 長寿社会政策課
管理者
ケアハウス花みずき 施設長
在宅サービスセンター科 科長
ケアプランセンターあいわ 管理者
ケアプランセンターあいわ豊中南
あいわ訪問看護ステーション
訪問介護ステーションあいわ

伊藤成規
亀上あけみ様
寺本圭一様 春木由香様
橋本広幸様
鶴田満子様
大槻洋介様
細川和孝様
村尾様 福田様
橋本淳
長尾雅子
土本美子
飯田典子
吉田照章 仲宗根綾子
中川政美
長尾敏 藤井和代
大井明子

前半



01

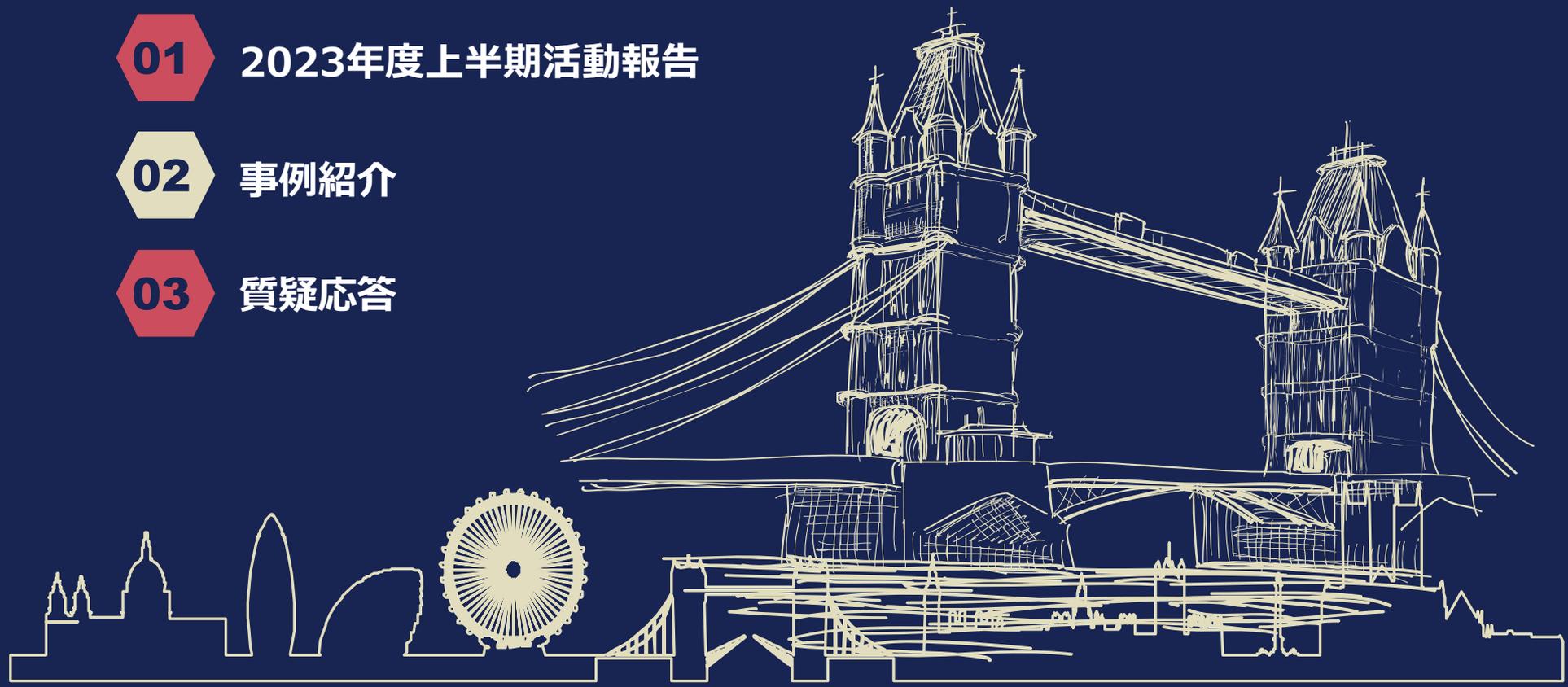
2023年度上半期活動報告

02

事例紹介

03

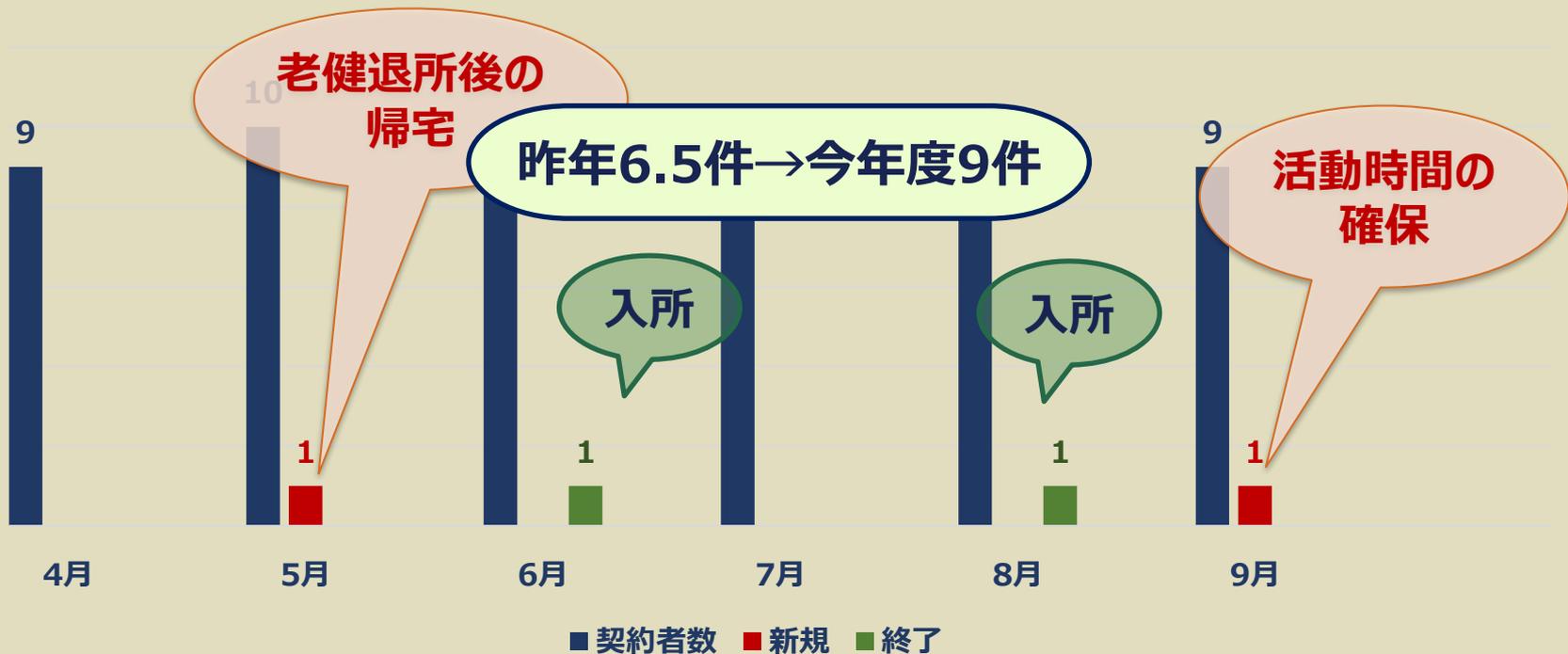
質疑応答



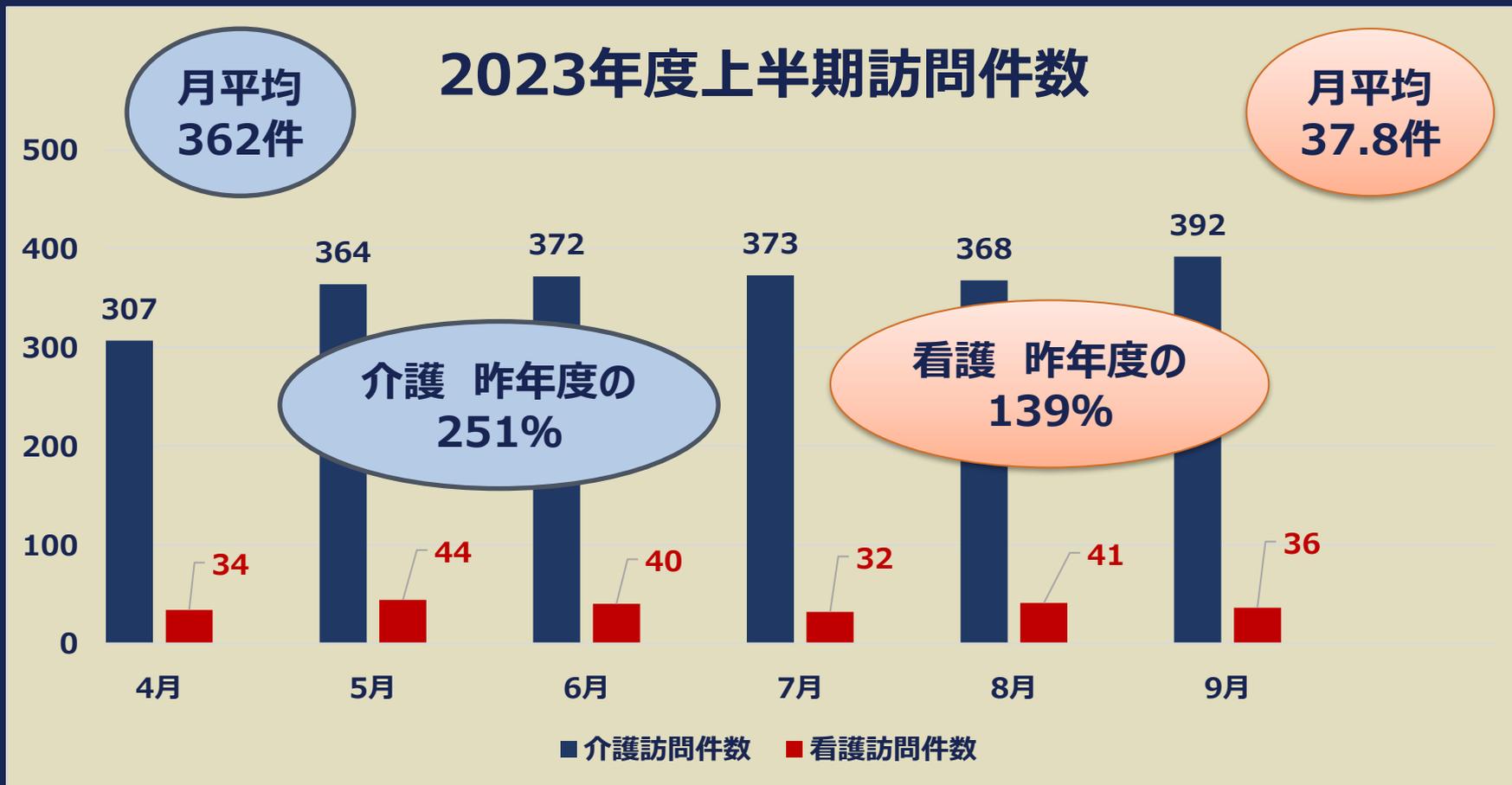
契約者数、新規、終了数推移



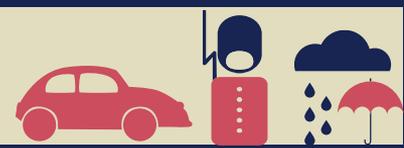
2023年度契約者数と新規、終了



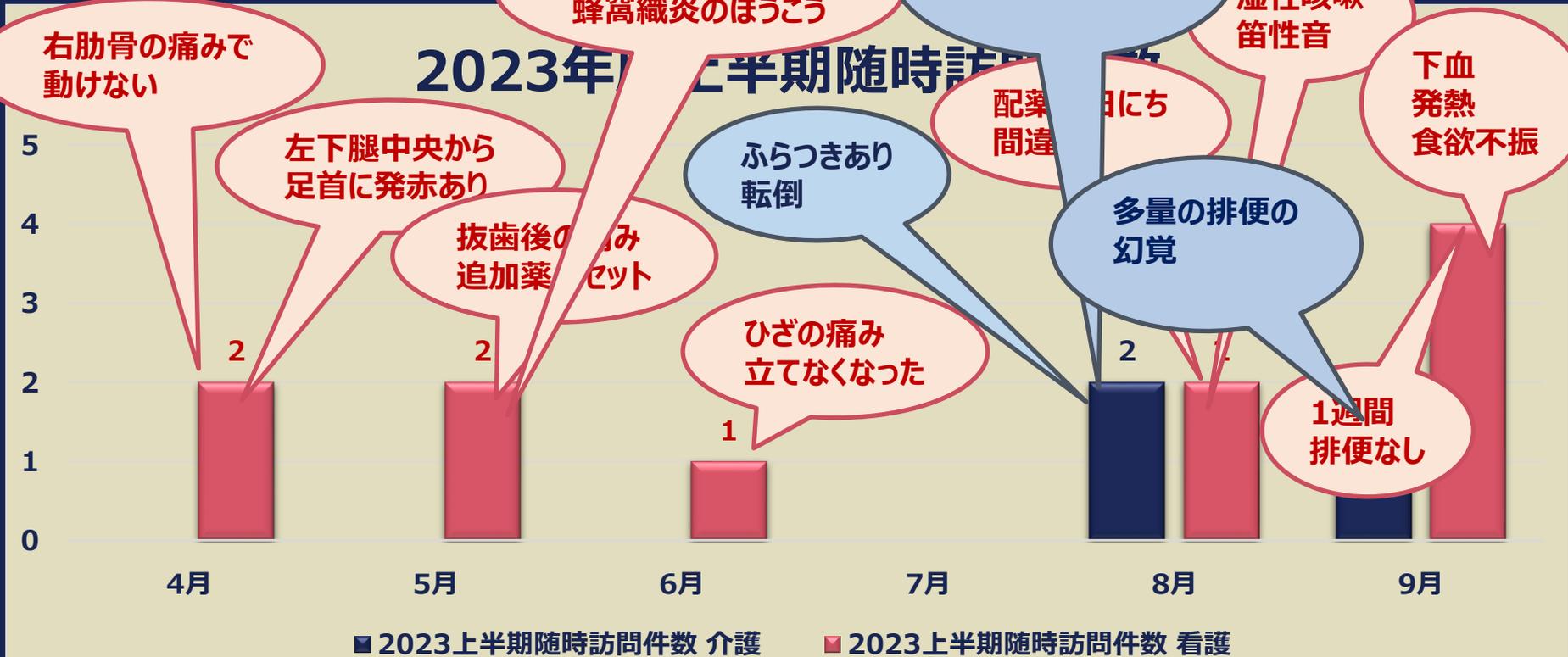
2023年上半期訪問件数推移



随時訪問件数推移



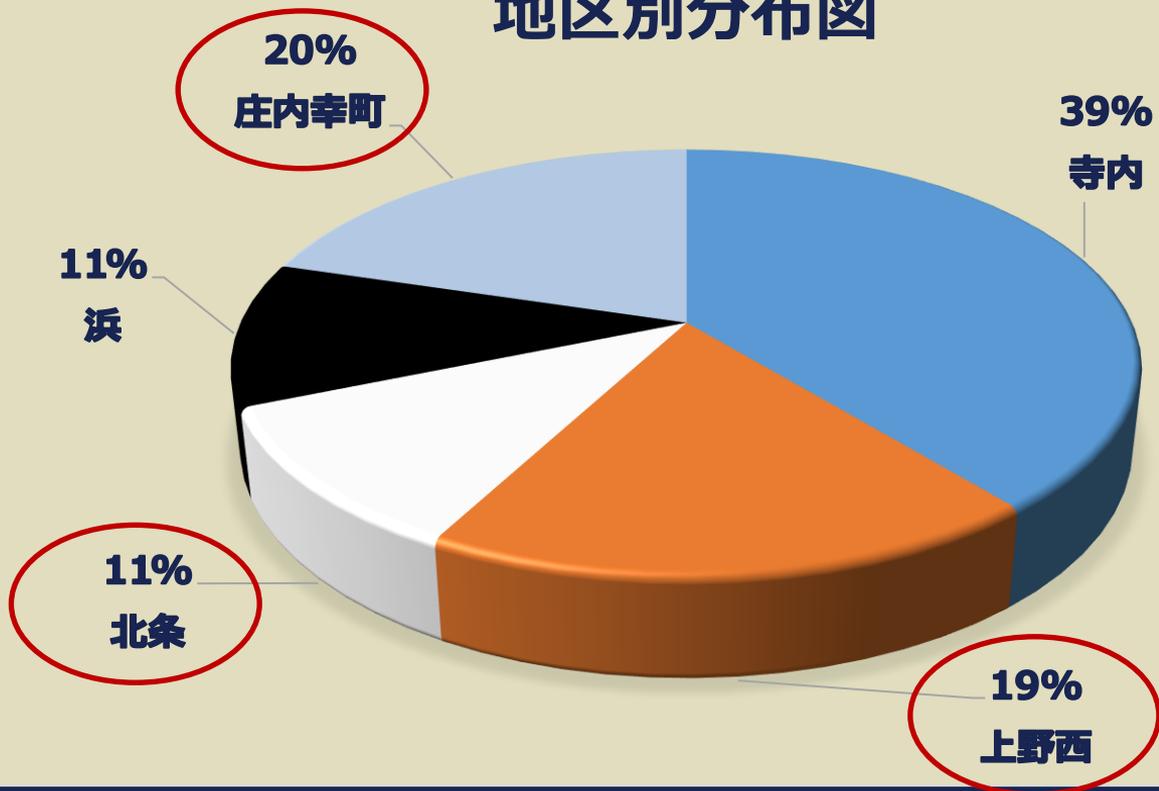
2023年1～6月上半期随時訪問件数推移



利用者地区別分布



地区別分布図



職員状況



- 管理者 1名
- サービス計画作成者 (5名)
(オペレーター兼務 5名)
- 登録ヘルパー13名
- 看護師 8名
- PT 3名
- OT 1名

事故報告



定期巡回サービスでは事故の報告はありませんでしたが、介護訪問サービスで1件インシデントがありました。

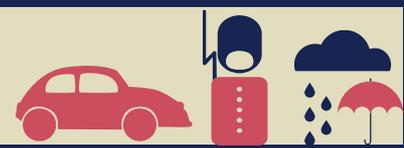
II 事故の概要	発生日時	2023年 5月 6日(土) 13 時 55 分	
	事故の区分	<input type="checkbox"/> 転倒(転倒・転落・不明) <input type="checkbox"/> 皮下出血・外傷 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 離設 <input type="checkbox"/> 送迎中の事故 <input type="checkbox"/> その他()	
	発生場所	<input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> 居室トイレ <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> その他(エレベーター内)	
事故の発生経過及び対応	状況図	言語機能障害・重度知的障害者の利用者の外出を2人介助で行う。歩行時や立位時に身体のバランスを崩し後方に倒れそうになる。以前は60分外出できていたが体力的にも難しくなり30分に短縮し外出を行っている。歩行時は両サイドからサポートしているが、エレベーター内では狭く前後で介助を行う。	
		30分の外出を終え自宅マンションのエレベーターに乗り込み動き出した時に利用者が右膝折れをおこし右後方に倒れそうになる。後方の介助者が左腕を持ち介助する。2人がかりで支えるが右膝外側が壁に当たり擦り傷ができてしまう。	
III 利用者の対応 利用者家族等へ	利用者・家族への説明	エレベーター内の事を説明し一緒に右膝を確認してもらう。	
	利用者・家族の反応	(父)「大分足が弱ってきているんや」 (母)「腰がぬけたんか? 裕子ちゃん」 (利用者)椅子に座り水分をとる。ふらつきあり介助でリビングに移動する。	
IV 要因分析	環境要因	エレベーター内狭く両サイドではなく前後に介助者が立っていた。 3人とも扉を向いて立つ。前の介助者に利用者が抱きつき後方からもう一人の介助者が支えていた。 気温が高く蒸し暑かった。	
	スタッフ要因	(前側)介助者から利用者の手が離れた時点で後ろを振り向いたが身体のバランスを崩した後だった。 (後方)左脇下に手を添え介助していた。膝折れ時に転倒しないように支えた。	
	利用者要因	気温が高かったが、長袖2枚 ベスト1枚着用していた。(ベストはすぐに脱いでもらう。) 水分補給のお茶を持参していなかった。(家族・家政婦が用意するがその日はなかった。) 自動販売機でポカリスエットを購入したがペットボトルからは飲みこく充分には飲めなかった。	
V 根本要因	エレベーター内で前後に並んで立っていた。(利用者が以前より前側の介助者に抱きつくため)		
	何かあった時にすぐに介助できる位置に立つことができなかった。		
VI 対策	エレベーター内では立ち位置を斜めにし前後に並ばずに両側から利用者を支え咄嗟の自体にも対応できるようにする。		
	言語障害がある利用者のため、自分から暑さの訴えができない。外出前に着用している服装や持参物を確認し出かける。		

言語機能障害・重度知的障害者の利用者の外出を2人介助で行う。
 歩行時や立位時に身体のバランスを崩し後方に倒れそうになる。
 以前は60分外出できていたが体力的にも難しくなり30分に短縮し外出を行っている。歩行時は両サイドからサポートしているが、エレベーター内では狭く前後で介助を行う。
 30分の外出を終え自宅マンションのエレベーターに乗り込み動き出した時に利用者が右膝折れをおこし右後方に倒れそうになる。
 後方の介助者が左腕を持ち介助する。
 2人がかりで支えるが右膝外側が壁に当たり擦り傷ができてしまう。

対策

エレベーター内では立ち位置を斜めにし前後に並ばずに両側から利用者を支え咄嗟の自体にも対応できるようにする。
 言語障害がある利用者のため、自分から暑さの訴えができない。外出前に着用している服装や持参物を確認し出かける。

事例紹介



氏名	Y・T	性別	女性	年齢	90歳	介護度	要介護3
家族状況	独居						
現疾患、既往歴	壊疽性胆嚢炎（胆嚢全摘）、総胆管結石性胆管炎、慢性心不全、高血圧、子宮外妊娠 公害喘息						
特記事項	独居、認知症はなく通所、訪問介護を利用。2022/11/1、発熱にて自宅で動けなくなっているのを長女が発見。総胆管結石性胆管炎と診断、YK病院に緊急入院となる。その後、肺炎、急性胆嚢炎を併発、胆嚢摘出術施行。廃用症候群になりADL低下。リハビリ目的で老健利用、コロナ陽性となり、再入院。再度老健利用後、帰宅となる。						
訪問目的	排せつ介助、服薬介助、食事準備、買い物、洗濯、掃除等						
定期巡回役割	家族・・・長女は近所に住む。小学校教諭のため日中は介護できない。併せて夫にがんが見つかる。が毎日の食事は夜、作って持って来てくれている。薬の受け取り、配薬も長女が担っている。 定期巡回：介護・・・10：00、14：00、19.30訪問 オムツ交換、朝、昼、夕の食セット、車いす移乗、服薬介助、確認、口腔ケア、洗濯、買い物、掃除、デイ送り出し等（日、月、火、水、木、金、土） 定期巡回：看護・・・月1回（水）病状観察 PT・・・月3回（水）関節可動域運動、下肢自動介助運動、基本動作練習、離床促し						

定期巡回導入までの経緯



● 2022.11月

発熱し自宅で動けなくなっているのを娘さんが発見し救急搬送。
胆管結石性胆嚢炎との診断。高齢なことや喘息もあることから
胆嚢摘出は難しい状況だったが、その後急性胆嚢炎となり胆嚢全摘。
入院に伴い廃用症候群進行によるADL低下ありリハビリ目的のため
老健入所

● 2023.1月

コロナ陽性となり再入院し症状軽快にて1/31再入所となる。



★長い入院・入所生活でADL、意欲低下が顕著となり、できる限り自宅で過ごさせてあげたいとの娘さんの希望もあり、定期巡回導入となる。

娘さんは近所に住まれているが同居家族の介護やお仕事をされているため、介護が困難だが、できることはしますとのこと。娘さんは自宅で作られたおかずをほぼ毎日持って来られ、受薬やお薬のセット、一部の買い物などの協力あり。



Y・T氏週間予定



T・S氏 訪問時間

	日	月	火	水	木	金	土
9:30			介護	看護		介護	
10:00	介護	介護	デイ (隔週)	介護	介護	デイ	介護
11:30				PT			
14:00	介護	介護		介護	介護		介護
18:00			介護			介護	
19:00	家族	家族		家族	家族		家族
19:30	介護	介護		介護	介護		介護

家族・・・薬受け取り、セット、夕食調理

F病院・・・往診（月2回）、訪問看護指示書

介護・・・おむつ交換、陰部洗浄、更衣、水分補給、口腔ケア等、洗濯、食事準備、買い物、掃除等

看護・・・症状観察

看護（PT）・・・関節可動域運動、下肢自動介助運動、基本動作練習、離床促し



Y・T氏週間予定



T・S氏 訪問時間

	日	月	火	水	木	金	土
9:30			介護	看護		介護	
10:00	介護	介護	デイ (隔週)	介護	介護	デイ	介護
11:30				PT			
14:00	介護	介護		介護	介護		介護
18:00			介護			介護	
19:00	家族	家族		家族	家族		家族
19:30	介護	介護		介護	介護		介護

家族・・・薬受け取り、セット、夕食調理

F病院・・・往診（月2回）、訪問看護指示書

介護・・・おむつ交換、陰部洗浄、更衣、水分補給、口腔ケア等、洗濯、食事準備、買い物、掃除等

看護・・・症状観察

看護（PT）・・・関節可動域運動、下肢自動介助運動、基本動作練習、離床促し



畑辰美

介護福祉士（訪問介護ステーションあいわ）

8/12 16:38

お世話になっております。

9日より軽度の痰絡みの咳をされていました。

10日19時 KT37.9°C→37.0°C

11日 9時 KT36.8°C

デイで KT36.7°C(入浴中止)

18:30 KT38.0°C→37.8°C

12日 14時 KT36.8°C

本日14時訪問時、倦怠感あると言われるも食欲ありました。

ただ、痰の量が増えているご様子ありました。喉の痛みは無いと言われてい
ます。

以上、ご報告いたします。



11



返信



医師

8/2 12:50

臨時訪問しました。御指摘の如く、尿路感染発熱前状態かと愚診しました。
抗生剤（クラビット）処方しましたので、1日1回内服してもらってください。
薬局に用意してあるので、どなたか取りにおいでください。宜しく御
願い致します。



10



返信1件 最終更新(8/2)



藤井和代 承知いたしました。ありがとうございます。



長尾敏

介護福祉士（訪問介護ステーションあいわ）

8/17 20:30

お世話になっております。

本日19時の訪問時、KT=37.8°C

食欲なし、傾眠傾向、呼吸苦はなし。倦怠感の訴えあり。湿性咳嗽継続。
サイダーコップ1杯とスイカ、モズク食されています。

19:30 KT=38.2°C

娘さんが21時ごろ訪問し、クーリング等行ってくださるとのことです。

以上ご報告です。



13



2件の返信



医師

8/17 21:55

結果まちですが、御家族一度来院下さい。説明します。



9



山田智子

看護師（あいわ訪問看護ステーション）

8/18 07:28

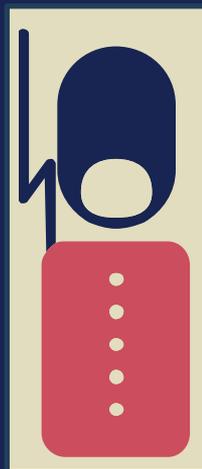
いつもお世話になっております。

先ほど娘様より連絡がありましたので、ご報告させていただきます。

KT36.8 サイダーをしっかり飲んでいる。稲荷寿司を3個摂取されたそうで
す。むせなし、訪問中は咳嗽はなかったとのこと。

昨夜にいただきました先生のコメントを娘様へ伝え、今日の夜診に伺うと
言われていました。

質疑応答



ご質問ご意見など
ございませんでしょうか？



03

事例紹介

04

新規獲得への活動

05

地域活動報告

06

質疑応答

氏名	M・K	性別	女性	年齢	83歳	介護度	要介護1
家族状況	独居						
現疾患、既往歴	・膠原病（1994年～） ・虚血性心疾患 ・レビー小体型認知症の疑いが強く、幻覚症状がある。						
特記事項	膠原病による皮膚疾患有。						
訪問目的	服薬セット、服薬介助、確認、体調、安否確認 調理、洗濯、買い物、受薬						
サービス利用状況	看護…週1回（服薬管理、体調確認） ヘルパー…（月・火・木・金・土・日）						
定期巡回役割	家族：長男・長男嫁…通院付き添い（H病院：膠原病） 往診医：TMクリニック…主に心臓についての診察 訪問歯科：H在宅クリニック…歯の痛みの治療 H病院：膠原病治療 定期巡回：介護…服薬介助、確認（月火木金土日） 調理、洗濯（週1回）受薬（月1回） 定期巡回：看護…週1回（水）病状観察、内服管理、傾聴						

定期巡回導入までの経緯



★2019.5月

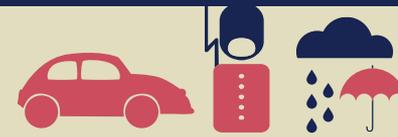


ここ数カ月で物忘れが急激に増え、足の力が入らず、転倒も増加。足に力が入らないため重い荷物が持てず、ゴミ捨てが困難、服薬忘れも増えてきたため、息子さんとご本人が地域包括へ相談に来られる。

ケアマネからサービスの提案がなされ、現状の内服状況などの把握のため定期巡回での利用を選択され、内服等がしっかりできている様であれば訪問介護へ切替えをされることとなり、定期巡回導入となった。



定期巡回開始時の週間予定



M・K氏 訪問時間2019

	日	月	火	水	木	金	土
8:30			介護		介護		
8:40		介護				介護	
9:15				看護			
家族・・・受診付き添い							
介護・・・服薬準備、確認、買い物							
看護・・・病状観察、内服管理							

他の介護保険サービスは使わずに定期巡回サービスのみの利用だった

- ・2020.4/21、37.9℃咳はなし。4/22～4/27、発熱時の対処法に従い、完全防備で職員対応訪問。心配されたコロナの症状は出ず、安心していた。

6月に入り、転倒や打撲が頻発。

- ・6/17、ベランダから室内に入るところで転倒。その後玄関外の柱で右ほお骨打撲。出血あり。
- ・6/25・6/27ポットの蒸気による火傷（月・水・金NS対応）
（火・木・土HH対応）
- ・7/17、膀胱炎発症
- ・7/20、自宅内で転倒ベッド側面左ひざ打撲、出血あり
- ・7/29、夜中に転倒（本人は否定）左目周り打撲痕、腫れあり、充血



4月ごろから体調面も安定していないことから、看護と主治医であるH病院との連携がうまく取れないこともあり、訪問診療の検討を提案していた。

・8月よりかかりつけ医訪問診療開始

・8/14、引き出しを引き出しすぎ左足第1趾に落とし打撲

・8/24、ベランダの柵での打撲、額に傷。

・9/10、嘔吐あり。飲み込む際に引っかかったと話す。

・9/12、金曜に土曜の分まで服薬していた。

・9/14、嘔吐あり。

・9/16、嘔吐あり。食欲減弱気味。

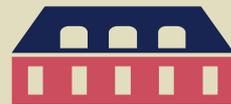
・9/19より土曜日HH対応。



2021年・2月、幻覚や幻聴は継続しており昼夜逆転傾向がみられる。阪大受診の際に相談され、デイの利用を勧められ、ご本人も「行ってみます」とのこと、ケアマネがご本人に合いそうなデイをいくつか提案し体験利用される。今回のデイの体験はご本人も気に入られ、利用開始となる。

4月には週2回利用となる。12月には週3回利用へ変更。

・ベッドや椅子からの転落、室内で足などをぶつけることが増えてきており、ケガをされることも増えてきた。



2022年1月

家の鍵が無く家に入れないと交番へ行かれた。

ご家族がキーボックスを設置される。

2月、往診開始。

5月、デイの日を忘れて買い物へ行っていた。

6月、ご家族と買い物や食事などを楽しまれ、帰宅後に
下血、QQ搬送、大腸憩室炎で加療のため6日間の入院。
ぼんやりしていることが多くなりデイも休みがちとなった。

歯の痛み訴え、訪問歯科導入。

9月、持病、多量の服薬のため年明け

H病院で抜歯予定。食が細くなる。自炊もできなくなった。
調理のサービス開始。



2023年1月

1月 抜歯のため阪大受診、麻酔をしいざ抜歯という時に恐怖心からか抜歯拒否。家族が会計中、隣の席の人にパンをもらい麻酔が効いて感覚がないのに思いっきりパンを噛か無感覚で舌を噛み10針縫合。

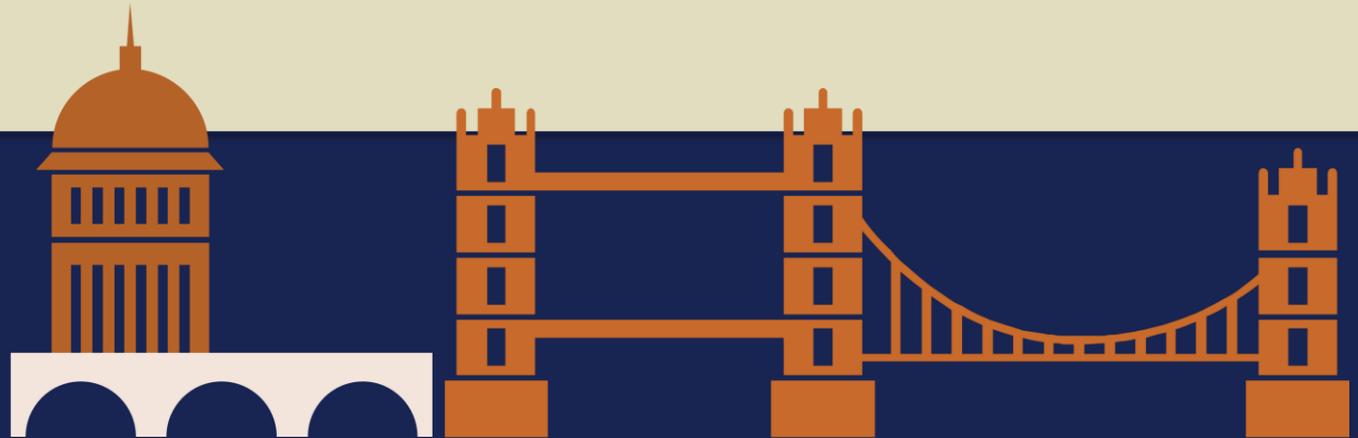
家族、訪問歯科との相談で抜歯は無理との判断。

ひどい虫歯のため下顎骨壊死の可能性も考慮し訪問歯科で定期的な診察開始。

入浴や洗濯ができなくなる。



- 5月 右頬が腫れており発熱。抜歯ができなかった歯からばい菌が入った可能性ありH病院にて点滴、抗生物質10日間処方。
- 6月 訪問歯科の紹介で別病院で抜歯。訪問時、こたつで寝ていることが増えた。半日デイから一日デイに変更をケアマネから提案。
- 7月 利用開始。3回半日デイを2日一日デイに切り替え。送り出しサービス追加。



M・K氏週間予定



M・K氏 訪問時間

	日	月	火	水	木	金	土
8:30	介護		介護		介護	介護	介護
8:40		介護				介護	
9:15		デイ		看護		デイ	
11:30				半日デイ			
14:00					往診		

家族・・・受診付き添い

TMクリニック・・・往診（月2回）、訪問看護指示書

介護・・・デイ準備、服薬準備、確認、更衣声掛け、水分補給、洗濯、食事準備、買い物、掃除等

看護・・・病状観察、内服管理、傾聴

**8月～10月には転倒続き。
一度は頭部から出血し救急搬送。
玄関やベッドサイドに手すりの設置の提案。
現在設置調整中。**





定期巡回導入当初より、認知機能の低下があり、意欲低下や筋力低下もみられ、サービス頻度も増加している。



このようにご利用者の状態に合わせ、ケアマネが中心となりご家族、各専門職への情報提供や提案を発信し、各事業所がサービス調整を行う。



またご家族の心強いサポートがあり、できるだけ安心して在宅生活が継続できるよう、サービス提供を行っている。



新規獲得の動き

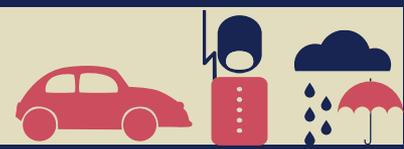


昨年度、定期巡回の説明会を行い、豊中市内の居宅事業所の方々に参加していただいたことで、定期巡回サービスについて興味を持っていただけた。何件か問い合わせもいただいたが、定期巡回サービスの内容ではないものなどもあり新規にはつながらなかった。
今後も、定期巡回について知っていただくための説明や事例の報告を定期的に行う機会や場所を作る。

地域包括の地域のネットワークづくり等の集まりにも積極的に参加し地域での顔の見える関係を広げていく。

高齢化となっているケアハウス利用者が長く住み続けていただける環境を作っていく。そのためには体調の変化や状態をいち早く把握し、多職種参加の合同ミーティングでスムーズな定期巡回導入のタイミングを見極めていく。

ケアハウス利用者に私たちができること



地域活動報告



寺内祭り



ローズフェスタ



グリーンメイ



子育て支援 うりぼー



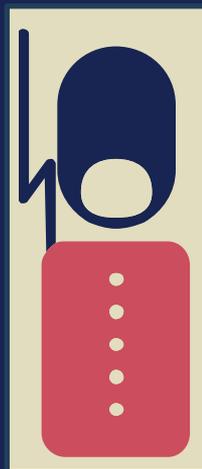
こども食堂
ローズコミュニティ
こどもひろば



まごころ弁当



質疑応答



ご質問ご意見など
ございませんでしょうか？